



自衛隊栃木地方協力本部

益子町民まつりに自衛隊広報展を出展 ～自衛隊との思い出が子供たちの未来を彩る～

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川 3 陸佐）は、11 月 16 日（土）、栃木県益子町で開催された『益子町民まつり』で自衛隊広報ブースを出展した。

今年の益子町民まつりは、町村合併 70 周年記念事業として産業祭、文化祭などを同時開催し益子町の魅力を広く内外に PR する内容で、自衛隊の出展は地域住民とのふれあいを大切に、特に子供や若者たちに自衛隊の魅力や重要性を伝える絶好の機会となった。自衛隊広報ブースでは、東部方面特科連隊第 2 大隊（宇都宮）の支援による 1/2 トトラック展示、制服試着、わなげコーナーのほか自衛隊家族会主催による自衛隊グッズ販売を行った。車両展示では、自衛官の制服や装備に興味津津の子供たちが、お気に入りの制服を着用して車両前で写真撮影を楽しむ姿が見られた。子供たちからは、「今日はかっこいい自衛官の方と一緒に写真を撮らせてすごく楽しかった！」「自衛官のお仕事の内容や、車について教えてもらえました。もっと自衛隊を知りたいくなりました！」などの感想があった。

真岡募集案内所は、「普段接する機会が少ない子供たちと自衛隊の触れ合いの機会を作ることができた。今後も自衛隊活動が地域にどのように貢献しているかを直接伝え、地域住民との信頼関係を築く一助となるよう取り組んでいく」としている。



触れ合いは自衛官との「思い出の種」



「自衛官になりきって敬礼！」

令和 6 年度就職援護連絡会議

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一 陸佐）は、11 月 20 日（水）、北宇都宮駐屯地において「令和 6 年度就職援護連絡会議」を実施した。

本会議は栃木県内の雇用情勢の認識共有を図り、自衛隊の就職援護業務に対する理解を得るため、栃木地方協力本部と自衛隊援護協会東京支部、栃木県自衛隊雇用促進協議会、栃木県産業労働観光部、栃木県労働局及び県内 12 か所の公共職業安定所の情報交換等を行い相互協力関係の強化を図るものである。

冒頭、自衛隊栃木地方協力本部長からの主催者挨拶に始まり、地本から「栃木県内退職自衛官の就職援護状況」、自衛隊援護協会東京支部から「東京支部管内における退職自衛官の就職援護状況」を説明、栃木県労働局から「栃木県の雇用情勢及び産業動向等の現状と今後の見通し」、栃木県産業労働観光部から「職業能力開発施策」、各公共職業安定所から「各地域の雇用情勢及び産業動向の現状と今後の見通し」についての情報共有を図った。また、自衛官募集の観点から「厚生労働省公共職業安定所（ハローワーク）における自衛官等の募集について」として、自衛官募集の求人票の登録・掲載について栃木県労働局及び各公共職業安定所に対して協力を依頼し賛同を得ることが出来、自衛官募集に対する協力体制が図れた。

栃木地本は「今後も、地本に与えられた各種目標達成のため、援護、募集、広報等が一丸となってあらゆる機会を活用し相乗効果を図りつつ目標達成に向け全力で邁進していく」としている。



退職自衛官の就職援護状況説明



県内各公共職業安定所等に対する協力依頼